

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		都市計画基本図等作成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	事業部	課長名	中島 眞由美
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	都市計画課	担当者名	遠坂 未来子
	基本事業	16	計画的な市街地の形成			所属班	都市計画班	(内線)	2235
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 1	事業連番 10170	法令根拠	都市計画法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑥
								コスト削減優先度評価結果	: ②

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	2万5千分の1管内図の印刷、空中測量、デジタルオルソの作成、予察、現地調査、地図データの修正、都市計画図(1万分の1)印刷、都市計画基本図(2千5百分の1)原図の作成、1万分の1白図原図の作成、在庫の管理合併に伴い、平成17年度に2万5千分の1管内図を作成し、平成18年度からは都市計画基本図(2千5百分の1)、合志市全図(1万分の1)、都市計画図(1万分の1)の作成に着手した。合併により行政区域が現在の姿になった。また土地利用が進み、建築物や道路などに変化が見られる。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	地図データの修正、原図修正、印刷の発注、在庫の管理、納付書発行
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	地図については印刷まで完了しており、特に意見や要望はない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
都市計画図(1万分の1)の印刷、在庫の管理、納付書発行	在庫の管理、納付書発行
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア:市全域の面積	需用費(印刷製本費)の減
イ:整備すべき地図の種類	種類
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市の地理情報(データ、原図、印刷物)、都市計画(用途地域、道路、地区計画など都市計画決定済みのもの)	ア:市全域の面積
	イ:整備すべき地図の種類
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市の地理情報や都市計画の地図データの修正を行い、都市計画基本図(2千5百分の1白図)原図、1万分の1白図原図の作成、都市計画図の印刷を行う。	ア:整備の完了した面積
	イ:整備の完了した地図の種類
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
市の地理情報の整備状況を把握する	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	km2	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17
	イ	種類	0	0	0	0	0	1	0	0
②対象指標	ア	km2	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17
	イ	種類	0	0	0	0	0	1	0	0
③成果指標	ア	km2	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17	53.17
	イ	種類	3	3	3	3	3	3	3	3
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			54	70			
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	51	53		48		15,691	53	53
	(A)事業費計	千円	51	53	54	118	0	15,691	53	53
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	50	50	45	60	45	80	45	45
	(B)人件費計	千円	203	199	179	239	179	318	179	179
	トータルコスト(A)+(B)	千円	254	252	233	357	179	16,009	232	232

事務事業名	都市計画基本図等作成事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 整備水準については、通常あるべき水準を確保した。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 市の地図を作成管理する事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 出来上がった地図の管理(販売含む)のために最低限の人員が必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一般に譲り渡す場合に、受益者から印刷費相当の金額を徴収しており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

都市計画図(1万分の1)の印刷、在庫の管理及び地図販売に伴う納付書の発行を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					